

— フェンス (H1.5m 前後)
— とりかごネット

※遊具、健康器具の種類と配置はイメージです。



橋場公園 公園づくり

ワークショップ ニュース

発行：中原区役所
道路公園センター
発行日：令和8年4月

Vol.3

■拡張整備の経緯

この度、橋場公園の隣接地を含んだ区域を川崎市が借受け、橋場公園を拡張整備することになりました。拡張整備にあたり、あらたな公園づくりに地域の皆さんの声を反映するため、ワークショップ（話し合いの場）を3回開催しました。第1回は現地でアンケートを実施し、第2回は拡張範囲を実際に歩いて体感した後、新たな公園の整備方針を検討しました。第3回ワークショップでは、これまでの意見を踏まえてゾーニングについて意見交換を行い、整備イメージを決定しました。



現在の橋場公園は548m²ですが、隣接地を拡張することで、約3倍の約2,000m²となる予定です。
◀ワークショップのホームページはこちら
<https://www.city.kawasaki.jp/nakahara/page/0000180873.html>



第3回ワークショップを開催しました！

「新たな橋場公園の計画案を決めよう！」

3月14日(土)に、橋場公園内で、ゾーニングについての意見交換と遊具イメージの投票を行いました！第3回ワークショップには、大人20名子ども2名の参加がありました！

■第3回ワークショップの流れ

- 1 整備方針**
これまでのワークショップ等のご意見を元に整備方針をたて、みんなで確認をしました。
- 2 ゾーニングの決定**
ゾーニングイメージ2案から、公園のゾーニングの意見交換を行い、決定しました。
- 3 遊具イメージの検討**
どんな遊具を置きたいか、投票を行いました。



※ワークショップの検討内容詳細は裏面をご覧ください。

改修の流れ

**R7年度
整備方針と
ゾーニングの決定**

ワークショップを3回開催し、ゾーニング（施設配置）を決定しました。

**R8年度
遊具など施設の決定
と実施設計**

どんな遊具を設置するか？などを具体的に決定します！
(夏以降にワークショップを開催予定)
工事発注に向けた図面の作成（実施設計）も行います！

**R9年度
(以降)
改修工事**

公園完成！

■問い合わせ先
川崎市中原区役所道路公園センター
公園整備担当 山下
住所：〒211-0041
川崎市中原区下小田中 2-9-1
電話：044-788-2311

第3回ワークショップの内容について
ご意見があればQRコードを読み込み、
お送りください。

<https://forms.gle/8sgZX7DcNz8kryT56>

1 整備方針

これまでのワークショップ等でのご意見を元に、整備方針をたてました。

～公園づくりの目標～

たくさんの世代に支えられる公園
いつも住民であふれる愛される公園



① 住民が憩える公園

多世代の子ども達のがびのび遊べる遊具や施設が充実している場
外出するきっかけとなる場

広場エリア	児童用遊具エリア	
健康器具エリア	幼児用遊具エリア	ボール遊びエリア

② 地域でつとえる公園

地域のイベント利用や利用者が自由に活用できる場
災害時の一時避難場所として活用できる場

広場エリア

③ 四季の変化を楽しめる公園

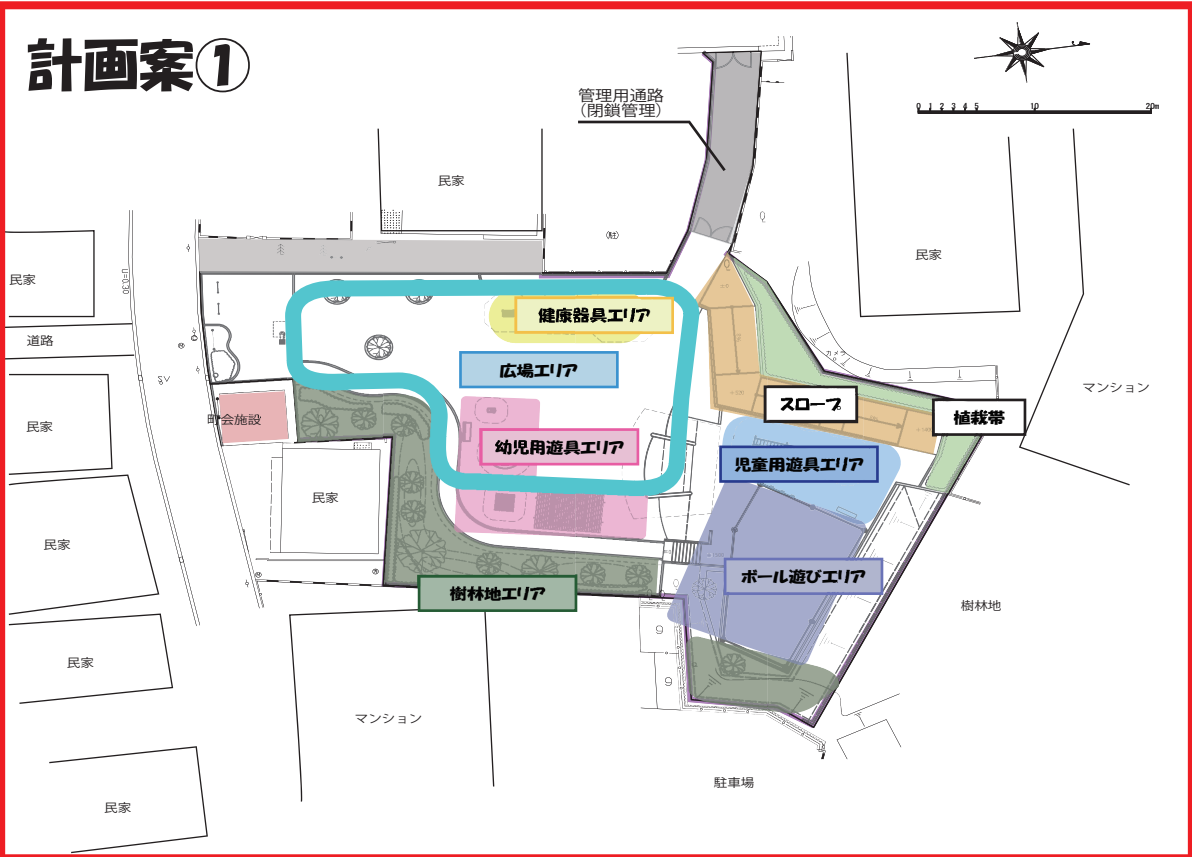
新たな緑の創出、季節の変化を楽しむことのできる場
うっそうとした樹木ではなく程よい植栽

樹林地エリア	花壇	散策路
--------	----	-----

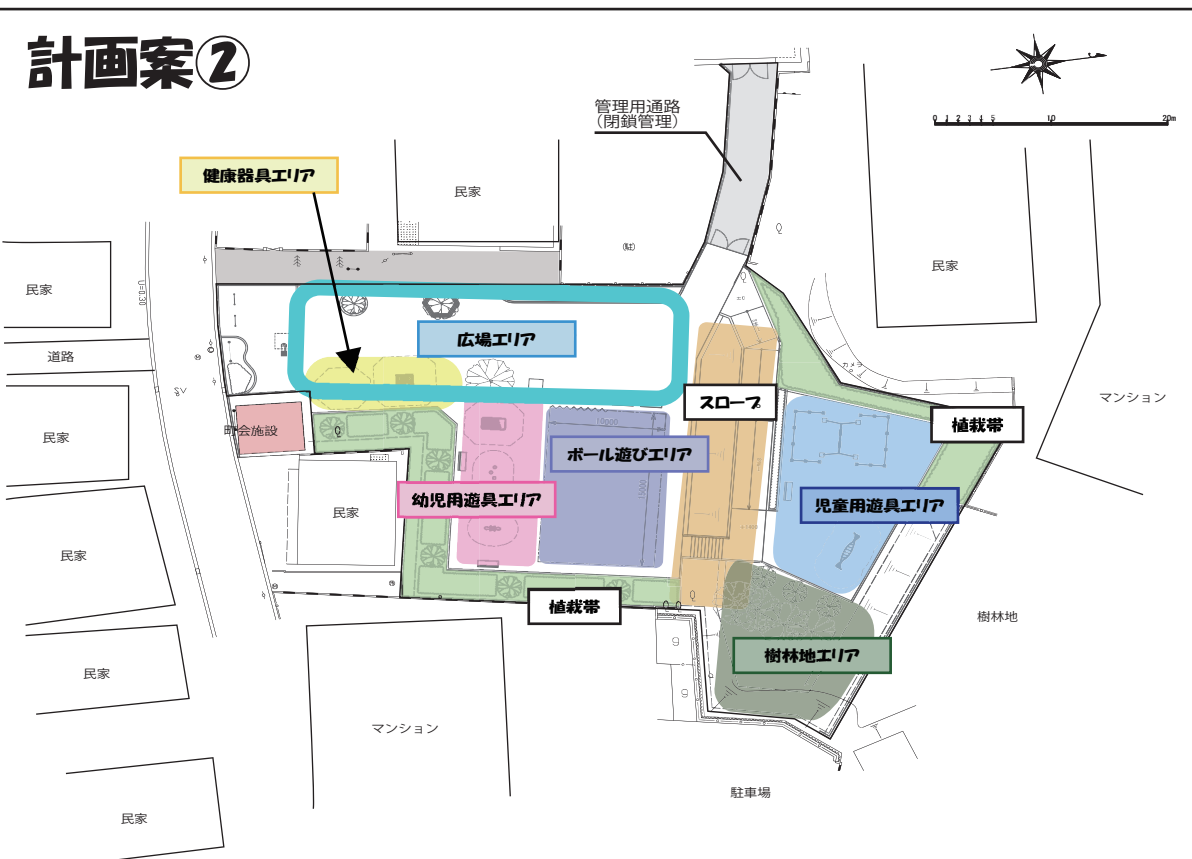
2 ゾーニングの決定

これまでのワークショップを踏まえて作成したゾーニングイメージを2案提示し施設の配置について意見交換を行い、計画案①に決定しました。

計画案①



計画案②



●ボール遊びエリア

- ・ボール遊びエリアは民家から離れている方がよい
- ・周辺の住宅への影響や、ボール遊びを行う場所の明示のため、としかごネットはあったほうがよい

- ▶ボール遊びエリアは、全面（側面及び上部）ネットを設置する
- ▶大きさは15m×10m程度で検討している（井田杉山町北公園と同等）



●遊具、健康器具

- ・すぐ近くの上小田中つつじ公園に幼児用遊具があるので、児童用遊具を充実させたい
- ・幼児用エリアよりも、児童用エリアやボール遊びエリアを広げてはどうか
- ・健康器具は必要か

- ▶近隣からの意見やこれまでのワークショップでの意見を踏まえ、基本設計では幼児用遊具、健康器具を設置する案としている
- ▶遊具の詳細は今後の実施設計にて検討する

●機能・役割

- ・公園にすべての機能を詰め込む必要はないのでは
- ・周辺の公園との役割分担が必要
- ・町会の行事は遊具などの施設がない方が実施しやすい
- ・広場（空地）は災害時にも役立つ

- ▶公園の機能分担は、川崎市としても課題として認識している
- ▶周辺の公園の遊具や、町会行事での使い方を踏まえて、遊具の配置や数を検討する

●トイレ

- ・トイレはあったほうが良い

- ▶トイレ設置にはメリットもあるが、デメリットも大きい（維持管理や不特定多数の方の滞留など）ため、今回は設置しない

●樹木

- ・レモンは活かしたい
- ・既存の樹林地がなくなると、景観が損なわれることが懸念される

- ▶レモンはトゲがあるほか、実の扱いなど、管理に課題がある。
- ▶計画案①だと北側のレモンを含む既存樹林地を残すことは難しいため、南側エリアに植栽する

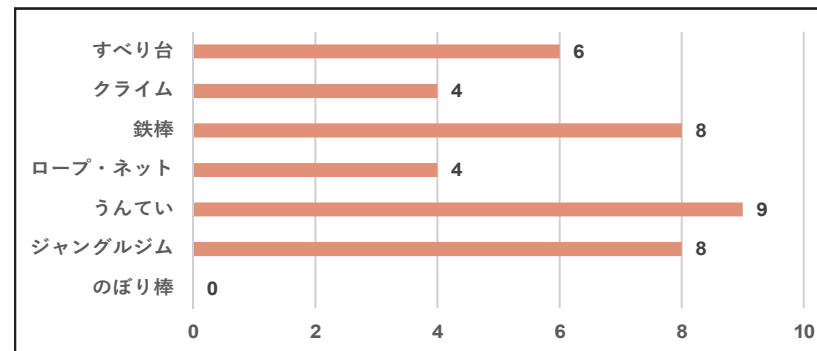
●ゾーニングは計画案①で決定！

3 遊具イメージの検討

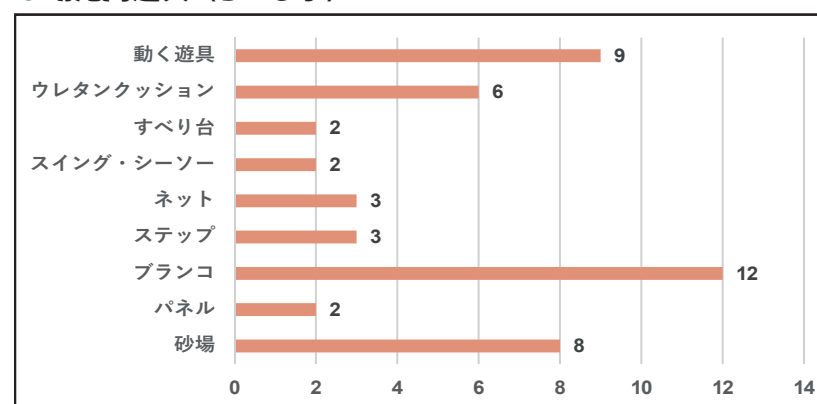
どんな機能がほしいかを考えるため、遊具のイメージについて投票を行いました

遊具の詳細は今後の実施設計にて決定します。

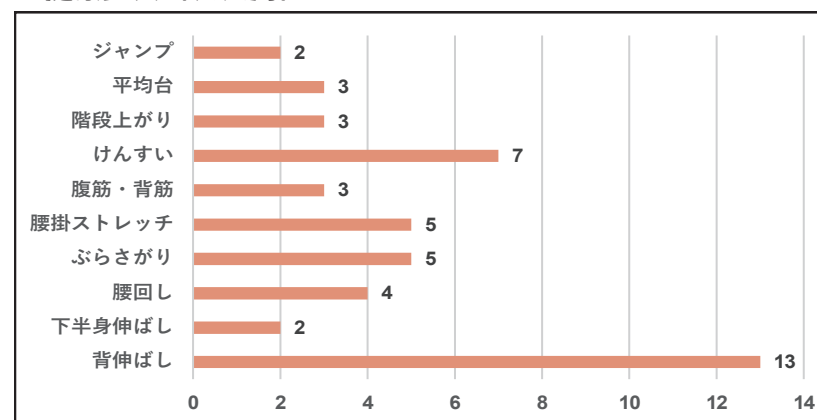
●児童用遊具（6～12才）



●幼児用遊具（3～6才）



●健康器具（大人用）



●斜面遊具

